エリアブランディング構想(御幸の浜海岸・かまぼこ通り周辺)策定事業

第1回研究会

令和7年1月29日(水)午後6時~小田原市役所大会議室

本日の流れ

- 1. あいさつ
- 2. 自己紹介
- 3. 事業概要について
- 4. 各種調査について
- 5. 意見交換
- 6. 事務連絡

1

あいさつ

小田原市企画部政策調整担当部長 阿部 祐之

2 自己紹介

小田原市漁業協同組合鈴木様から、反時計回りに団体名、氏名、ひとことをお願いします。

事業概要について

- (1) 事業目的
- (2) エリアの特性
- (3) 事業の進め方
- (4) 本日の会議のポイント

(1)事業目的

「地域特性」と「海」を生かしたまちづくりを一体的に展開することを目的とし、多様な関係者との対話を重ねながら、 事業対象エリアが目指すべき将来都市像をエリアブランディン グ構想として策定する。

(1)事業目的

かまぼこ通り、御幸の浜海岸御幸の浜プール、小田原市土地開発公社用地等を含む地図のエリアを対象とする。

住居あり、歴史あり、観光 あり、商業あり、海岸あり の、市内でも珍しい環境



(1)事業目的

★エリアブランディング構想とは?

- まちづくりの戦略の一つ。
- ・旧東海道などの歴史、蒲鉾や干物などの水産加工業をはじめとする「なりわい」が息づき、海岸などの自然環境、落ち着いた 住環境を活かして、事業対象エリアの価値を高めるための構想。
- 研究会をはじめとする関係者が主体となって構想の内容を検討し、地域住民などへの働きかけを行いながら策定する。

①構想の位置付け

[上位計画]

第6次小田原市総合計画 ※現在第7次計画を検討中

即す

エリアブランディング 構想 [関連計画]

小田原市

整合

- 小田原市都市計画マスタープラン(R5.3改 訂、計画期間: R5年度~R24年度)
- 小田原市景観計画(H17.12)
- 小田原市歴史的風致維持向上計画(第2 期)(R3.3 計画期間:R3年度~R12年度)
- 小田原市観光戦略ビジョン(R5.3 計画期間: R5年度~R12年度)

②各計画でのエリアに関連する方針

■小田原市都市計画マスタープラン

- ○かまぼこ通り周辺地区などについては、地域 資源を生かした自主的なまちづくりに対して 支援を進めます。
- ○高潮・高波等による被害を軽減させるため、 海岸保全施設の機能強化を図ります。
- ○相模湾沿いの風致地区については、後退した 砂浜を回復させ、海浜の安定を図り、市民や 来訪者のレクリエーションの場として活用できるよう 県と取り組みます。

■小田原市景観計画

〇かまぼこ通り周辺地区 重点区域

小田原宿やなりわいの文化や風情を現代に 受け継ぎながら、人々の活気あふれる景観 形成を図る。

〇国道1号本町・南町地区 重点区域

城下町・宿場町を感じさせ、なりわいや歴 史が息づき、人と人との交流が深まり魅力 あふれる景観 形成を図る。

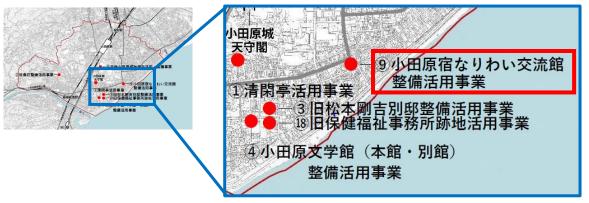
②各計画でのエリアに関連する方針

■小田原市歴史的風致維持向上計画(第2期)

○小田原市の歴史的風致

- 1.小田原旧城下町と祭礼にみる歴史的風致
- 2.旧千度小路周辺と早川の水産業にみる歴史的風致
- 3.板橋と南町の別邸文化に由来する営みにみる歴史的風致
- 4.早川周辺の木工業にみる歴史的風致
- 5.曽我の梅栽培にみる歴史的風致
- 6.箱根外輪山東麓の柑橘栽培にみる歴史的風致
- 7. 栢山と報徳仕法の継承にみる歴史的風致

〇重点区域



■小田原市観光戦略ビジョン

〇小田原の海を生かす新たな コンテンツと場づくり

→ブルーツーリズムやマリンアクティビティの推進、 御幸の浜のさらなる活用など



③エリアのこれまでの取り組み

■街かど博物館

小田原の産業にかかわるひと・製品・ものづくりの結びつきを知ってもらい、小田原の魅力を高める











③エリアのこれまでの取り組み

■街並み環境の向上に向けた取組

①小田原宿なりわい交流館の活用による回遊促進



■なりわい交流館 交流拠点として活用し 交流拠点として活用や体 態に立ち寄って旅籠の 雰囲気や展示物のな りわいに触れてもらい、 歴史・伝統の認識を高 めている。



■地場飲料の提供 湘南ゴールドエナジー・ 梅の風・片浦レモンサ イダーなどを販売して おり、地場産品のPRを 行っている。



■まち歩き かまぼこ通り、旧東海道小 田原宿の認知度向上と交 流人口の拡大を図るため、 なりわい交流館を起点とし たまちあるきを実施している。



②地区に点在する歴史的風致形成建造物の指定及び指定候補









■丸う田代(かまぼこ屋) ■旧鈴廣本町店

③道路舗装の美装化・植栽整備による市街地環境の向上





④小田原かまぼこ通り活性化協議会の取組による地区の賑わい創出



■小田原宿場まつりの開催



■山車小屋・神輿庫(松原神社)の修景



■万紀製作



■空き家・空き店舗の利活用促進



空き家・空き店舗の所有者への ヒアリングによる意向調査等(売 却や第三者への賃貸意向の確 認など)の結果、利活用事業者 とのマッチングにより、1件の空 き家を解消した。

◆小田原宿なりわし

交流館の来場者

数の推移

③エリアのこれまでの取り組み

■日本遺産

旅人たちの足跡残る悠久の石畳道-箱根八里で巡る遥かな江戸の旅路-

- ・東海道の名所「箱根八里|
- ・小田原宿から箱根宿へ、「箱根八里」東坂を辿る
- ・東と西の分岐点、箱根宿
- ・箱根峠から三島宿へ、「箱根八里」西坂を辿る

「エリア内の構成文化財〕



松原神社



かまぼこ通り



小田原蒲鉾



片岡本陣 (明治天皇本庁行在所跡) (明治天皇宮ノ前行在所跡)



清水金左ヱ門本陣

※写真は日本遺産HPより

③エリアのこれまでの取り組み

■小田原市地域別計画(改訂版、H29.3)

市内26地区ごとの地域コミュニティ組織により、地域の課題やその解決方法、将来像などをまとめた計画。

万年地区

地域のキャッチフレーズ

旧き良き伝統のまち 萬年

はじめの一歩(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

1 健康・福祉 お年寄りが一人でも元気で安心して暮らせるまち

子どもたちが地域に見守られて明るく育つまち

2 防災・防犯 防災対策が万全で、誰もが安心して住めるまち

犯罪のない、安全で、明るいまち

3 生活環境 だれもが住みやすい環境をめざすまち

4 文化・教育 地域の歴史を掘り起こし、伝えていくまち

子どもの交流が広がるまち

5 絶紡嫌がり 人とのつながり・ふれあいを大切にするまち

伝統行事を大切に守って、引き継いでいくまち

地区活動を活発にする組織づくりができるまち

幸地区

地域のキャッチフレーズ

いつまでもこれからも住み続けたい、 だれもが安心して暮らせる自然と歴史文化が調和したまち

はじめの一歩(住民自ら取り組むこと) ~ できることから始めよう ~

1 防災 いざというときに助け合いができるまち

2 防犯 向こう3軒両隣 声掛け合って 安全で安心して住める明るいまち

3 健康・福祉 両隣が顔見知りで、お互い助け合いながら、 地域でお年寄りを見守るまち

4 生活・環境 清掃活動を通して地域資産を守っていこう

5 文化・教育 伝統行事を守るまち 地域が学校の行事に協力するまち

■エリアの資源マップ



- ・御幸の浜海岸の豊かな自然環境、旧東海道の宿場町として栄えた歴史、蒲鉾や干物などの水産加工業を営む店舗を背景に、住宅が密集し、関係者も多様。
- 誰か一人の意見ではなく、関係者全員が「自分のコト」として 取り組んでいく必要がある。
- •このため、関係者で構成する研究会を設置し、

構想策定の主体として取り組む。

本事業は、大きく3つの段階を経て策定する。

小田原市



庁内検討会議

政策調整課·商業振興課 観光課·水産海浜課 都市政策課

- <検討事項>
- ・各調査の実施内容
- ・既存計画や法令との整合確認
- ・先進事例等の調査研究 等

①研究会員の課題 意向把握



③関係者や地域住民を含めた広い合意形成



SNSやかわら版による 情報発信

研究会

関係者の意向を踏まえ、 構想策定に向けた検討を行う



②地域住民への働き掛け

地<mark>域の会議での説</mark>明 SNSやかわら版での情報発信

住民意識調査 来訪者実態調査

地域住民等



①ヒアリングを通じた研究会員の意向を把握・共有 庁内検討会議での検討

小田原市



庁内検討会議

政策調整課·商業振興課 観光課·水産海浜課 都市政策課

- <検討事項>
- 各調査の実施内容
- ・既存計画や法令との整合確認
- ・先進事例等の調査研究 等

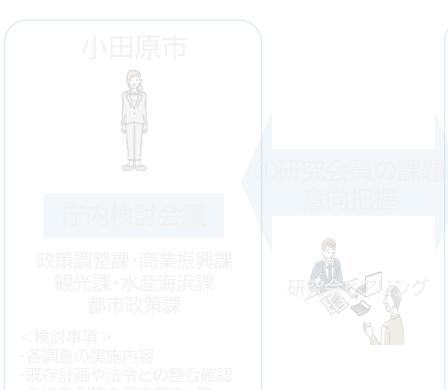
①研究会員の課題 意向把握

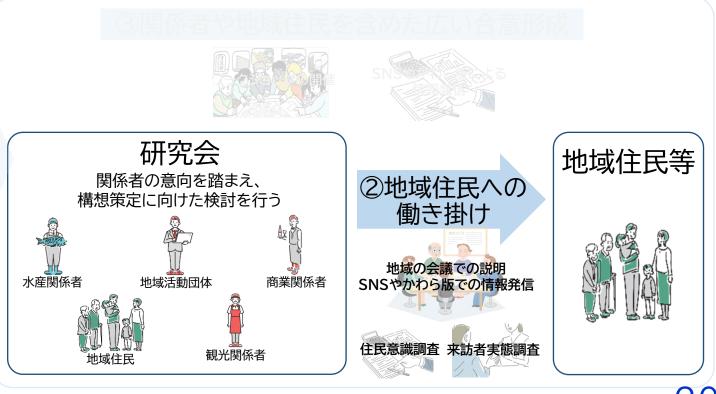






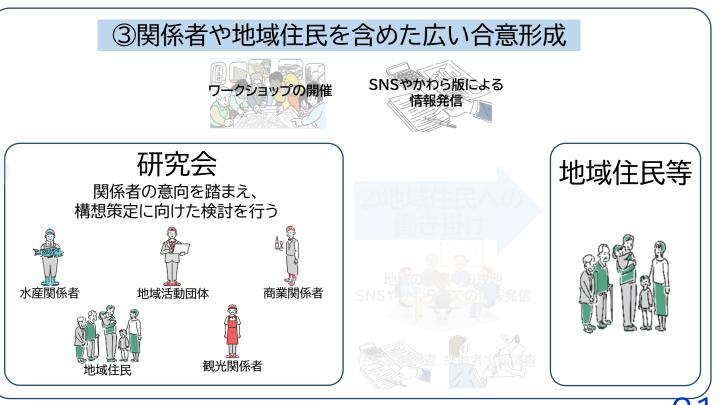
②研究会メンバーによる地域住民との対話





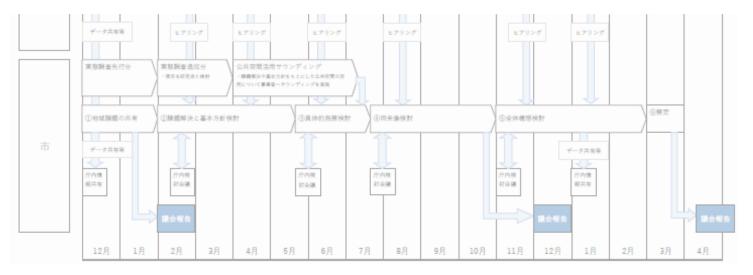
③ワークショップを通じた地域住民との合意形成







資料3 関係者別調整スケジュールをご覧ください



どのような構想を作っていくかのイメージを、 他市の事例でご説明します。

(4)本日の会議のポイント

- ・関係者間で魅力や課題を共有する
- ・地域住民や来訪者の魅力や課題との重なりを共有する

√研究会として解決すべき課題の共通認識を持つ

4

各種調査等について

- (1) 関係者ヒアリング調査
- (2) 来訪者実態調査
- (3) 住民アンケート調査
- (4)調査結果のまとめについて
- (5) 今後の調査等について

(1)関係者ヒアリング調査 ①概要

■調査の概要

事業対象エリアのまちづくりに関する課題や目指すべき将来像などの意向を把握し、 構想策定に係る基礎情報とするため、事業対象エリアで活動する関係者や団体等への ヒアリング調査を行った。ヒアリング調査は構想策定まで継続的に実施していく。

- ・主な対象者 研究会メンバー及びその他関係団体
- ・方法 団体ごとに個別に事業対象エリアの魅力や課題等を聞き取った
- ・実施回数 令和6年7月~のべ25回(研究会員は18回)

■地域住民の意見

1住環境

- ・子どもの遊び場、公園等が不足
- ・単身の高齢者世帯が多い
- ・食料品や日用品等の店舗が不足
- ・道路が狭く、建替えできない敷地がある
- ・マンションが増加し、小学校の教室が不足

②交通

- ・駐車場が不足し観光客の路上駐車が多い
- ・国道の抜け道になっており、自動車の速度 が速い

3観光

- ・観光客の騒音、ゴミの増加、車両通行の妨害などが危惧
- ・生活圏と観光の棲み分け不足

4)歴史

・地域の歴史の掘下げ、PRが不足

⑤海・浜

・子どもは遊びにくい環境

■商業関係者の意見

1住環境

・かまぼこ通りの住宅への配慮が必要

②交通

- ・小田原駅、小田原城~かまぼこ通りへのアク セスが不便
- ・駐車場や駐輪場が不足

3観光

- ・かまぼこ通りの店舗同士の連携が困難
- ・かまぼこ店それぞれの特徴がわかりづらい
- ・このエリアならではの商品が少ない
- ・お土産屋や体験コンテンツ、休憩場所の不足
- ・観光客のゴミなどのマナー問題
- ・四季それぞれの楽しみ方がない

4生業・産業

- ・かまぼこ店の減少、後継者、新規参入不足
- ・かまぼこ等の販売量が低下
- ・新たなニーズの開拓が必要
- ・地元住民に商品を楽しんでもらいたい

5景観

- ・商店街のアーケードの老朽化
- ・商店街の空家・空店舗利活用不足
- ・マンション建設による景観の非統一感

6海・浜

・海の活用、PR不足

■観光関係者の意見

1住環境

・地域住民への配慮

②交通

- ・二次交通の不足
- ・駐車場が不足
- ・車のスピードが速くて危険

3観光

- ・かまぼこ通りのPR不足、観光客のイメージと 現状のギャップ
- ・新規の特徴的な店舗の活用不足
- ・お休み処、日陰がない、清潔なトイレが不足
- ・観光客等への案内(サインなど)の不足
- ・観光客を対象としていない店舗も多い。 (日曜日休みなど)

4)歴史

・松原神社祭礼などの伝統行事のPR不 足

5景観

かまぼこ店等がなくなり、マンション が増えている

⑥海・浜

・海を見て気軽に食事できるような場所がない。

■その他の意見

1観光

・浜の近くに飲み物や軽食を買える場所がない

②生業・生産

・漁場として漁獲量の継続的に確保する

③海・浜

- ・海が活かされていない。
- ・SUP利用と漁場の棲み分けができていない
- ・マリンスポーツのルールづくりやマナー啓発が必要
- ・御幸の浜の利活用に関するルールがない
- ・通年でシャワー等の設備があると良い。
- ・ライフセーバー不在時の災害発生時等の対応ができない

■調査の概要

御幸の浜海岸は夏季の海水浴場のほか、各種イベントの開催や日常的な利用がされている。 御幸の浜海岸で行われるイベントにおいて、次のとおりアンケート調査を実施した。

日時 2024年7月28日 (日) 10時~15時

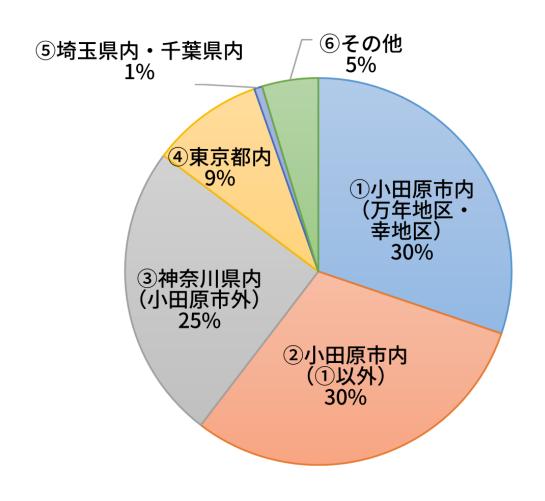
イベント ODAWARA BEACH PARK PROJECT

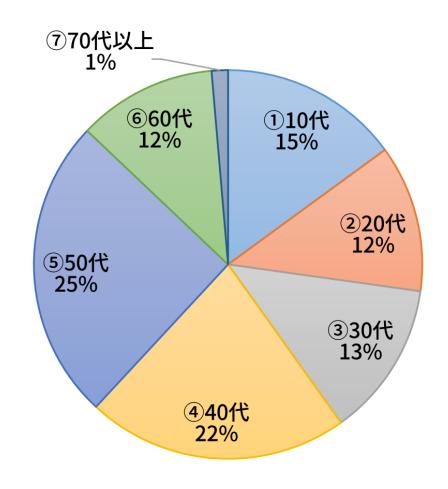
方法 書面記入

回答者数 148人



■回答者の属性

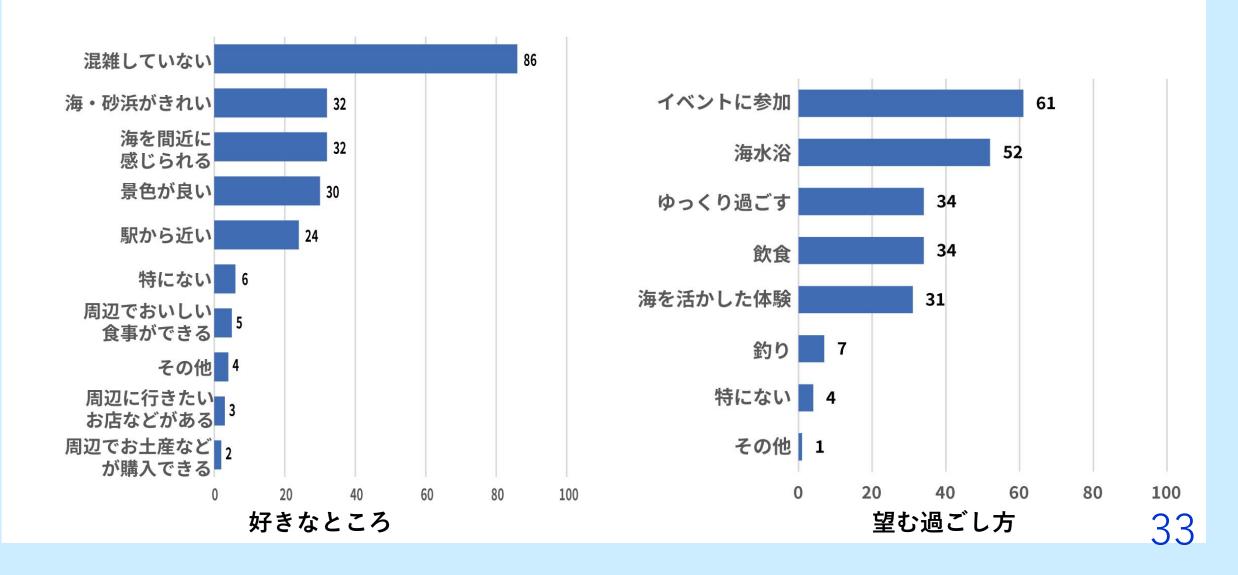


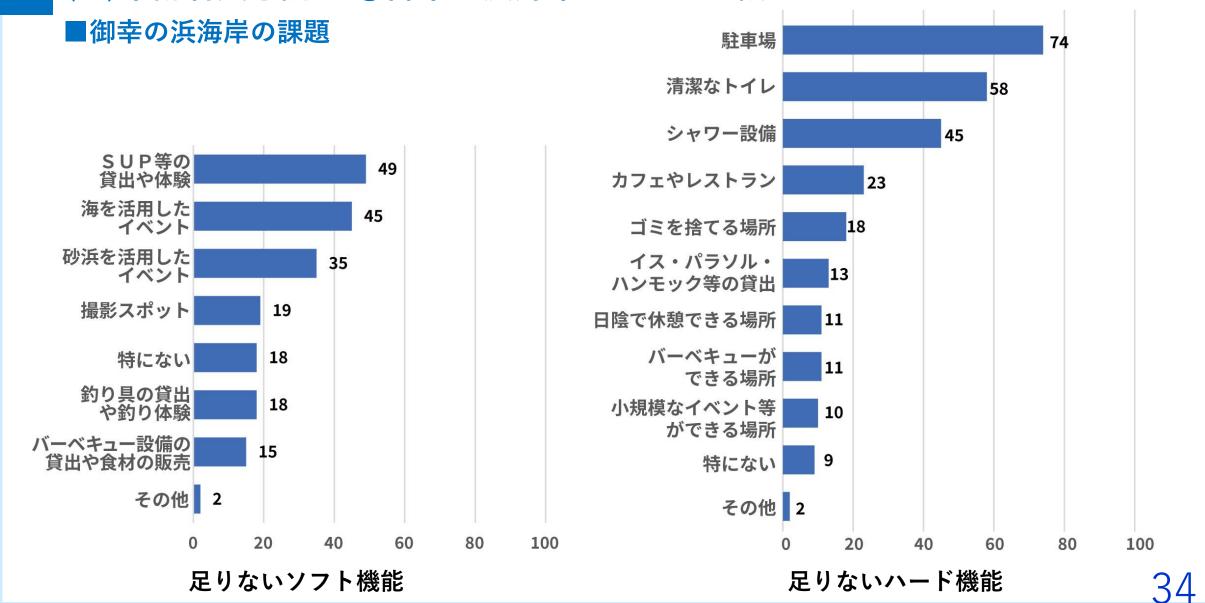


居住地

年齢

■御幸の浜海岸に対するニーズ





■まとめ

●来訪者の属性

- ・10代~60代の幅広い年代が来訪している。
- ・居住地は、約9割が神奈川県内。
- →様々な属性の来訪者があり、今後、ターゲットをどのように考えていくか検討が必要。

●御幸の浜海岸に対するニーズ

- ・御幸の浜海岸の好きな所は「混雑していない」ことが最多。
- ・望む過ごし方としては、イベントが最多。
- →現状の海水浴に加えて、通年でのイベントや海や浜を活かしたアクティビティに対する ニーズがある。ただし、現状の雰囲気・環境を守り、周辺住民の意識等への配慮も必要。

●御幸の浜海岸の課題(施設を含めて)

- ・ハードとして不足していると回答があったのは、駐車場が最多。
- ・ソフトとして不足していると回答があったのは、体験やイベント。
- →利用の活性化のためには、駐車場やトイレ・シャワー等の施設の整備が必要。駐車場に 関しては、海岸までの交通手段(自家用車以外の利用促進)などとあわせて検討する。 体験やイベントを提供するための施設や設備も検討が必要。

(2)来訪者実態調査②かまぼこ通りアンケート調査

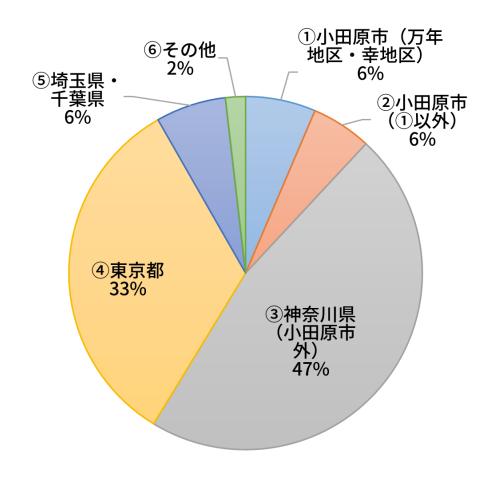
■調査の概要

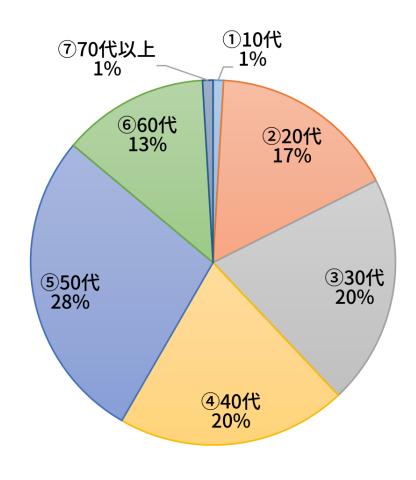
かまぼこ通りについては、蒲鉾店や歴史的な街並みなどの観光資源が点在する。これらの課題を含め、かまぼこ通りに対する来訪者のニーズを把握するため、かまぼこ通りで行われるイベントにおいて、次のとおりアンケート調査を実施した。

- 日時 2024年8月11日(日)13時~15時
- ・ イベント 小田原宿場祭り
- 方法 スタッフによる聞き取り及び書面記入
- 回答者数 110人



■回答者の属性

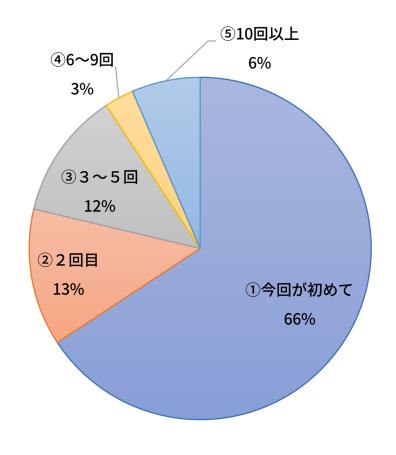




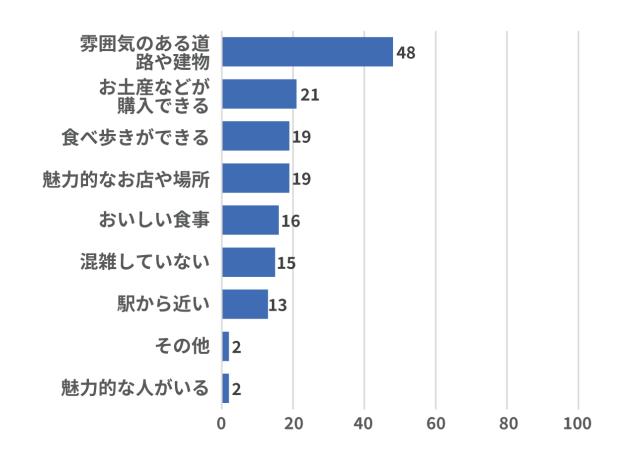
居住地

年齢

■かまぼこ通りに対するニーズについて

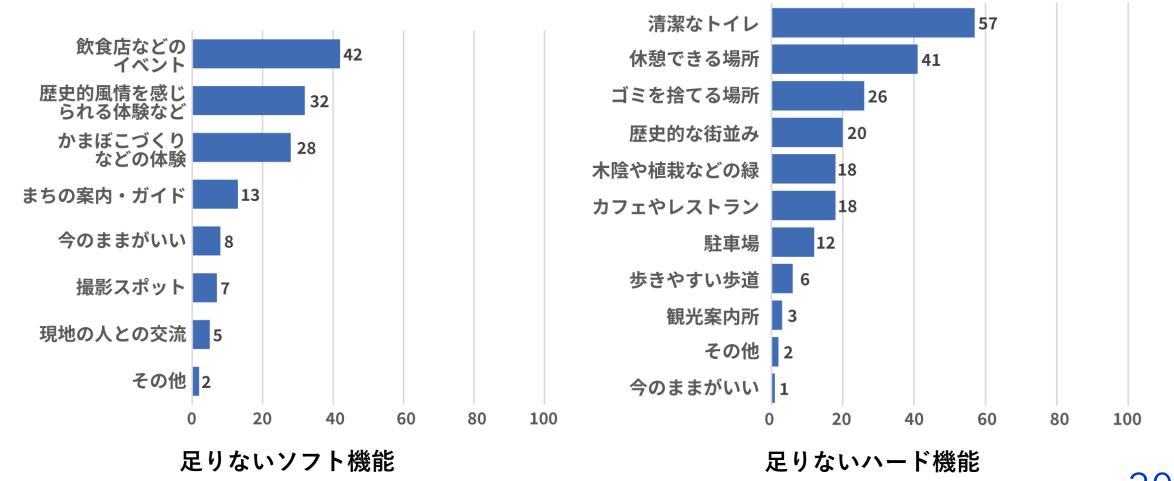


訪れる目的 (2回目以降の来訪者)



好きなところ

■かまぼこ通りに対する課題について



■まとめ

①来訪者属性について

- ・居住地は、神奈川県(小田原市外)が最多であり、次いで東京都。小田原市内は約12%。
- →市外・県外から多く集客できるイベントの傾向が表れている。

②かまぼこ通りの利用ニーズ

- ・来訪者の目的として、イベント参加、町並み散策、かまぼこ店での買い物、が多い。
- ・かまぼこ通りの好きなところは、「雰囲気ある道路や建物」が最多。
- →食や歴史がかまぼこ通りの魅力として認知されている。歴史ある雰囲気は、景観整備等の 取り組みの成果として評価できる。

③課題について

- ・清潔なトイレ、休憩できる場所、ゴミが捨てられる場所の需要が高い。
- ・あったら嬉しいものとして、イベントや体験が多く回答されている。
- →トイレや休憩、ゴミなどの環境整備に関する検討が必要。また、かまぼこ店や歴史的建物 以外の魅力やコンテンツ(飲食、体験など)が十分に認知されていないことも課題として あげられる。

■調査の概要

事業対象エリアおいて地域住民が日常的に感じる魅力や課題、公共施設等に対する活用ニーズ等の把握するため、事業対象エリア周辺の地域住民にアンケート調査を実施した。

日 時 2024年11月8日~11月30日

対 象 者 事業対象エリア内及び周辺にお住いの中学生以上の住民

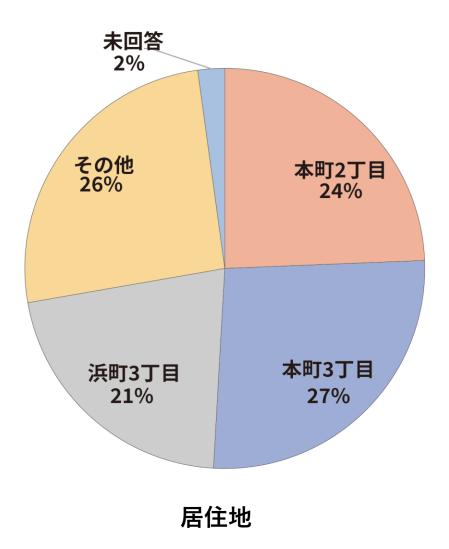
方法調査票を郵送、郵送及びWEBで回答

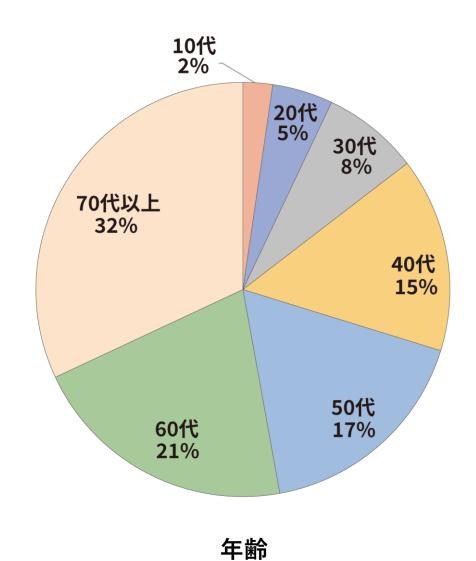
回答者数 829人 (郵送:591人 WEB:238人)

4. 各調査等について

(3)住民アンケート調査

■回答者の属性

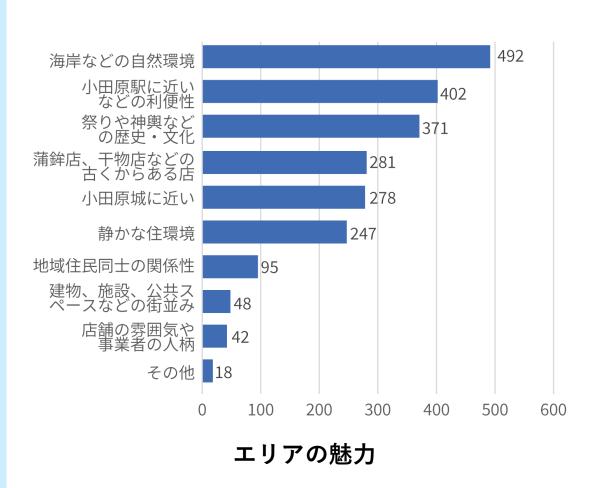


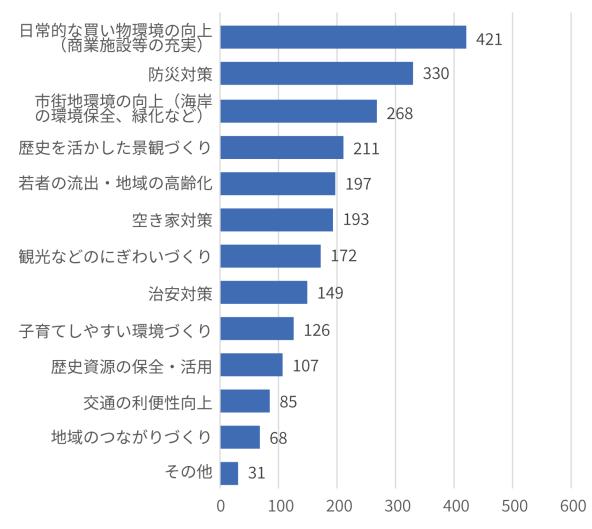


4. 各調査等について

(3)住民アンケート調査

■事業対象エリアの印象





エリアの課題

43

■御幸の浜海岸について(回答数:合計501件)

| イベントやマリン | |
|----------|--|
| スポーツの実施 | |
| (177件) | |

花火大会の復活、地引網イベント、マルシェ、海の体験・魚がテーマのイベント、アートイベント(砂浜・漂着物など)、音楽イベント、野外シネマ、星空を楽しむ、伝統行事の復活(大松明)、朝市、四季折々のイベント、スポーツ(ビーチバレー、ボディーボード、ヨガ、ビーチフラッグ、トライアスロンなど)、マリンスポーツの実施、水上アトラクション、フォトスポットの設置、など

公園・憩いの場と しての整備 (156件)

散策、魚釣り、景観を楽しむ、海を眺める、ゆっくり・のんびり楽しむ、お休み処、子どもの遊び場、高齢者が楽しめる、ベンチ・テーブルやテラスの設置、混雑しないくつろぎの場、バーベキュー、キャンプ、ライトアップ、松並木、海浜公園、など

施設・道などの整 備(113件)

カフェ・飲食店、ワーケーション施設、コミュニティ施設、観光客向け施設、道の駅、レジャー施設、遊歩道、ジョギングコース、サイクリングロード、ドッグラン、アスレチック、駐車場、など

現状の環境の維 持・改善(82件)

自然環境保全、砂浜の保全・維持、漁業環境の確保、ゴミ・騒音などのルールづくり、入口・アプローチの改善、トイレの改善、現状のままが良い、何もつくらない、など

観光施設としての PR・集客(20 件)

撮影スポット、お神輿の海入りなどの伝統行事のPR、遊覧船・観光船で回遊、小田原城等のイベントと連携、観光客が休息できる場所、宿泊施設、など

海水浴場としての 充実(16件)

海の家の充実、魅力的な出店、移動販売車、安全の確保、災害対策、など

■なりわい交流館について(回答数:合計465件)

| 飲食や | や物販等の | 実 |
|-----|--------|---|
| 施 | (170件) | |

カフェ、スイーツ・甘味処、食事処、駄菓子屋、かまぼこの食べ比べ、地産地消カフェ、子ども食堂、工芸品・名産品の販売、お土産物・グッズの販売、日用品の販売(農産物、生鮮食品、生活用品など)、スーパーなどの出張販売、市場の開催、チャレンジショップ、テイクアウトコーヒー、イートインスペース、など

地域住民の交流・ 活動の場所として 活用 (129件)

地域コミュニティの場、子ども(小学生)が集まれる・学習できる場、子どもの遊び場、 高齢者の集まれる場所、世代間の交流の場、子どもたちへの伝統文化伝承の場、ギャラ リー・サークル活動、団体の発表の場、時間貸しスペース、体験教室(料理・パソコン・ スマホ・囲碁・将棋など)、足湯、など

イベント等の充実 (70件)

小さなイベント、ライブ・ミニコンサート、ミニシアター、伝統工芸・地盤産業などの体験、ワークショップ、マーケット・バザー・朝市、展示会(作品・地域の歴史など)、など

観光、情報発信の 充実(69件)

小田原の歴史の語り部・展示の場、伝統工芸・名産の体験、トイレ、展示・VR等の充実、体験コンテンツのコーディネート、漁業やかまぼこ文化の発信、小田原の食の発信、移住推進事業の拠点、ガイド・ボランティアの拠点、観光案内所、電動キックボード等のモビリティ拠点、かまぼこ通りツアーの企画・開催、など

現状の機能を維持、 向上(58件)

ベンチ等を外に設置、入りやすい雰囲気づくり、現状で良い、何をやっているかわかりづらい、など

■御幸の浜プールについて(回答数:合計610件)

| 運動施設、 | 公園· |
|-------|---------------|
| 広場とし | て整備 |
| (2441 | 件) |

スポーツジム、スケートボード場、バスケットコート、テニスコート、フットサルコート、 ランニングステーション、多世代が使える運動施設、室内運動場(卓球・バドミントンな ど)、多目的なイベント広場、子供が遊べる公園・広場、海浜公園、地域住民の憩いの場、 ドッグラン、犬と遊べる公園、グランピング施設、フリーマーケット、市民農園、キャン プ場、足湯、など

する(188件)

プール機能を継続 廃止反対、修繕して継続希望、子どもプール、室内プール、温水プール、流れるプール、 海水プール、スライダーありのプール、など

商業機能等を誘致 (109件)

カフェ・飲食店、温浴施設、日用品の販売(農産物・生鮮食品・生活用品)、土産物の販 売、水族館、保育所、歴史館、図書館、コミュニティ施設、など

駐車場として整備 (96件)

観光客用駐車場、月極駐車場、立体駐車場、など

海岸と一体利用で きる施設の整備 (26件)

海水浴客のためのシャワー・トイレ・ロッカー・更衣室などの設備、サーフィン体験施設、 釣り堀、海の家、海を楽しめる・眺められる施設、展望公園、サウナ、浜の生態系が見ら れる、魚の養殖場、など

災害時の避難場所 として整備(15 件)

|津波の避難所、タワー・高台、災害時に利用できる広場、など

■第23区横の空き地について(回答数:合計472件)

| 公園 | ・広場、 | レ |
|-----|-------|----|
| ジャー | 機能と | して |
| 整備 | (279件 | =) |

地域住民の憩いの場、地域の行事・イベントの場、イベント時などの休憩場所、お休み処、公園・広場、遊具・アスレチック、ドッグラン、マルシェ・朝市、花壇、観光農園、緑化・芝生化、遊歩道・散歩道、スポーツ公園、新しいプール、バスケットボールコート、テニスコート、室内運動場、スケートボード場、など

駐車場・駐輪場として整備(80件)

御幸の浜海岸・かまぼこ通り来訪者用駐車場、プールなど施設利用者用駐車場、地域住民 向け駐車場、など

施設の整備 ___(75件)

飲食店・カフェ、日用品の販売(農産物・生鮮食品・生活用品)、市場、チャレンジショップ、商業施設、移動販売店の拠点、バーベキュー、水族館、美術館、図書館の支所、映画館、緊急避難所・タワー、保育園・学童、宿泊施設、ワーキングスペース、トイレ、など

海岸と関連する施 設の整備(24件)

海水浴客のためのシャワー・トイレ・更衣室など、釣りなどの道具販売、釣り堀、海の幸をテーマとした施設、ビーチパーク、海とつながる場、水族館、海浜植物の生育、避難場所(観光客など)、津波避難タワー、強固な堤防、津波対策広場、など

現状を維持 (11件)

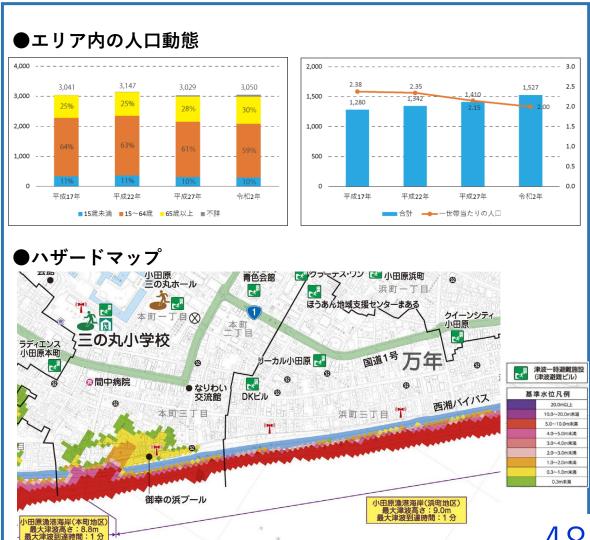
23区町内のイベント等スペース、空地、など

(4)調査結果のまとめ【暮らし】

■調査のまとめ

| | ■詞宜のよとめ | | | | | |
|------|--|---|-----------------------------------|--|--|--|
| | 住民 | 事業者 (商業など) | 来訪者 (観光) | | | |
| 特徴魅力 | 自治会活動が活発、 住民同士の強いつ ながり移住者が増加 | 自治会と商店街の協力関係店舗と住宅が近接 | • <mark>地域住民の暮らし</mark> を感じられる | | | |
| 課題等 | ・観光と居住の棲み分け ・子どもの遊び場が不足 ・単身の高齢者世帯の増加 ・食料品や日用品が買替える困難な住割 ・建替地 ・マンションの増加 ・防災対策 | 住環境への配慮が 不十分 地域住民向けの商 品が少ない | | | | |

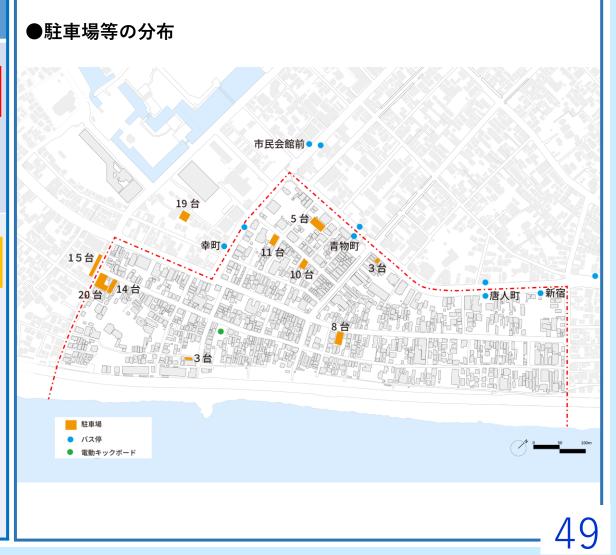
■関連するデータ



(4)調査結果のまとめ【交通】

| | 周査のまとめ | | |
|---------|----------------------------------|---------------------------------------|----------------------|
| | 住民 | 事業者 (商業など) | 来訪者 (観光) |
| 特徴魅力 | ・小田原駅から近い | 多くのレンタサイクル利用者 | ・小田原駅からも歩ける距離 |
| | ・ 来訪者用駐車場の 不足 | • <mark>駐車場、駐輪場の</mark> 不足 | ・駐車場の不足 |
| | ・車の通り抜けが危 | ・小田原城や早川との回遊性不足 | ・周辺エリア・施設 との回遊性不足 |
| 課題 等 | 険 ・かまぼこ通りの交 通量が多く危険 | | ・歩きやすい環境不 足 |
| | | 小田原駅からのア クセス性不足 | ・二次交通の不足 |
| | | | |

■関連するデータ



(4)調査結果のまとめ【観光】

■調査のまとめ

・観光客向けの取組

・かまぼこ通りの賑 わいが少ない

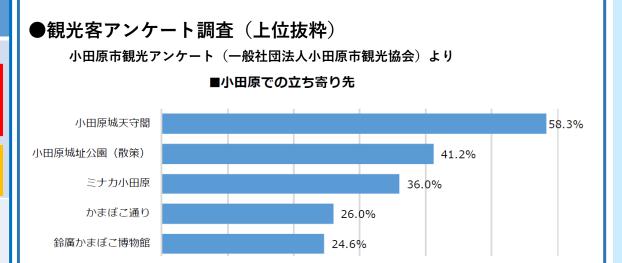
に肯定的、否定的 両方の意見がある

| i i | 間盆のまとめ | | |
|------|--|---|---|
| | 住民 | │ 事業者 │ (商業など) | 来訪者 (観光) |
| 特徴魅力 | ・宮小路の飲食店な どの日常的な利用 | • 若い経営者による 新規店舗等の出店 | 古民家等をリノ ベーションした店 舗などの増加 |
| | C 37 [1], 13, 13, 13, 13, 13 | メディアを通じて 注目される店舗 | ・新旧問わず特徴のある店舗等が多い |
| | ・暮らしと観光の棲 み分けが不十分 ・蒲鉾店の減少 | ・来訪者のマナーが 不十分・蒲鉾店の減少 | |
| | まちのPR不足なりわい交流館が | ・休憩場所、体験コンテンツの不足 | ・エリアの良さや特 徴等の情報発信不 |
| 課題等 | 観光の拠点として うまく活用できて いない | ・商店街の雰囲気維 持 | 足 ・トイレや休憩場所、 イベントの不足 |

・観光案内板やサイ

ンの不足

■関連するデータ



●観光客数(施設利用者数)

| 11/ /L | _ | — 1 |
|-------------|---|----------------|
| 里饭 | • | 1 \ |
| = 14 | • | 1 / |

| | H26 | H27 | H28 | H29 | H30 | H31·R1 | R2 | R3 | R4 | R5 |
|-----------------|-------|-------|-------|-------|-------|--------|-------|-------|-------|-------|
| 御幸の浜プール | 8 | 9 | 8 | 7 | 8 | 8 | 8 | 9 | 8 | 9 |
| 御幸の浜海水浴場 | 12 | 13 | 11 | 9 | 10 | 6 | - | - | 6 | 6 |
| 小田原宿なりわい 交流館 | 29 | 34 | 38 | 37 | 43 | 41 | 24 | 28 | 43 | 46 |
| 小田原城址公園 | 2,576 | 2,144 | 3,216 | 3,238 | 3,108 | 3,235 | 1,339 | 1,616 | 2,426 | 2,780 |

(4)調査結果のまとめ【歴史】

■調杏のキレめ

| | ■調査のよとめ | | | | | |
|------|--|-----------------------|---|--|--|--|
| | 住民 | 事業者 (商業など) | 来訪者 (観光) | | | |
| 特徴魅力 | ・歴史ある松原神社 の祭礼・伝統行事 の継承・小田原城への近さ | | ・ <mark>東海道、小田原城</mark> 総構え、松原神社 などの歴史 | | | |
| 課題等 | 松原神社の祭礼行事等のPR不足 なりわい交流館の活用不足 地域の歴史の掘下げ不足 | ・ なりわい交流館の 活用不足 | ・ 松原神社の祭礼等 の伝統行事の観光 客へのPR不足 | | | |

■関連するデータ



(4)調査結果のまとめ【景観】

■調査のまとめ

| | 住民 | 事業者 (商業など) | 来訪者 (観光) |
|------|------------------------------|---|----------------------------------|
| 特徴魅力 | | ・景観整備によるまちの雰囲気の統一感・それぞれ特色のある商店街が隣接する | ・風情のある蒲鉾店の店構え |
| 課題等 | ・ <mark>空き家の多いエリ</mark> アの存在 | ・空家・空き店舗の活用不足・歴史や賑わいを感じさせる景観が不十分・商店街アーケードの老朽化 | • 歴史的な建物やか まぼこ店のマン ション建て替え |

■関連するデータ

●景観計画 (重点区域)

かまぼこ通り周辺地区

歴史や文化の風情とともに、 人々の活気が感じられる地区



小田原駅周辺

図2 景観計画重点区域(拠点型重点区域)

国道1号本町・南町地区

なりわいや歴史 が息づき、城下 町や宿場町を感 じさせる地区



国道 号本町 南町地区 小田原城周辺地区 かまぼこ通り周辺地区 凡 例 基準線 の 100 200 10

●空家の件数

| | 建物棟数 | 空家等 | 空家率 |
|-------|--------|-------|-------|
| 本町2丁目 | 271 | 9 | 3.32% |
| 本町3丁目 | 372 | 32 | 8.60% |
| 浜町3丁目 | 405 | 26 | 6.42% |
| 合計 | 1,048 | 67 | 6.39% |
| 小田原市 | 82,326 | 1,389 | 1.69% |

(4)調査結果のまとめ【海岸・海】

■調査のまとめ

| | 住民 | 事業者 (商業など) | 来訪者 (観光) |
|------|--|------------------------|--|
| 特徴魅力 | 海岸清掃等などを 通じた地域コミュ ニティの醸成自治会がイベント に協力的 | ・外国人も来訪 | ・外国人からの人気・きれいな海・SUP等のイベントは来訪者が多く好評 |
| | | ・静かな海の需要 | |
| | | ・海も楽しむ買い物客 | |
| | ・海や浜の楽しみの | | ・通年で楽しめるプ |
| 課題等 | 機会の少なさ | | ログラムや環境整 備不足 |
| | | ・漁場とレクリエー ションの棲み分け | ・海や浜の利用に関するルール・マナーの周知不足 ・海が近いことの認知度不足 ・御幸の浜海岸の眺望の良い場所の不 |
| | | が不十分 | |
| | | ・海を生かした、海 と一体となったPR | |
| | | 不足 | |
| | | | 足 |
| | | | 災害時の来訪者への対応が不十分 |

■関連するデータ

●御幸の浜海岸の一時使用届(一部抜粋)

| 申請日 | 使用目的 | 使用人数 |
|----------|------------------------------------|------|
| R5.11.28 | どんど焼き | 35 |
| R5.12.25 | どんど焼き | 90 |
| R6.2.16 | TV撮影 | 20 |
| R6.4.16 | ロケーション撮影 | 15 |
| R5.5.7 | ロケーション撮影 | 40 |
| R5.5.16 | 花火大会実施 | 2500 |
| R6.6.21 | みんなでMIYUKI BEACH(バリアフリー イベント)開催 | 80 |
| R6.7.2 | 精霊流し(オショロ様) | 250 |
| R6.7.5 | 海岸清掃 | 40 |
| R6.7.16 | ビーチクリーン | 100 |
| R6.7.19 | 小田原ボートパークプロジェクト2024 | 500 |
| R6.9.4 | 清掃ボランティア活動 | 90 |
| R6.9.13 | 海岸清掃 | 90 |

その他、ロケーション撮影、ドローン撮影等で利用されている

(5) 今後の調査等について

① 追加調査について

- 目的 不足している調査、ヒアリング等の課題を裏付ける調査を行う。
- ・実施例 来訪者アンケート調査(エリア内の来訪者、周辺エリアの来訪者)、ヒアリング等 →ニーズや課題の確認、など

② ワークショップについて

- ・目的 地域住民等の幅広い意見やアイディアを集め、構想策定および実現にむけた取組の担い 手を発掘し、仲間を増やす。参加者を増やすことで、エリアブランディングの内容を周 知し、構想作成に向けて地元の関心を深め、機運を高める。
- 回数 全3回
- ・ 周知方法 自治会回覧、研究会メンバーからの呼びかけ
- ・ 実施例 地域住民との意見交換、模型を使ったグループワーク等

5

意見交換

ここまでの3や4を受けて、皆様が感じる魅力や課題について、意見交換をお願いします。

6

事務連絡

- (1) 今後の流れについて
- (2) 第2回研究会の開催日程について